



2018年5月19—20日（土・日） 19-20 May 2018 (Sat & Sun)

## 干潟・海辺の再生とまちづくり 国際シンポジウム

ホテル近鉄アクアヴィラ伊勢志摩（三重県志摩市・参加費無料）

### International Symposium on Tidal Flat and Coastal Wetland Restoration and Community Development for the Future

Hotel Kintetsu Aqua Villa Ise Shima, Shima City, Mie, JAPAN (Free entry)

<会場> 伊勢志摩国立公園内・ホテル近鉄アクアヴィラ伊勢志摩 **一般参加可・一部参加可**

三重県志摩市大王町船越 3238-1

<https://www.miyakohotels.ne.jp/aquavilla/>

#### 1日目（5月19日・土）

10:30～11:30 ホテル近鉄アクアヴィラ伊勢志摩敷地内の再生干潟観察・敷地内視察

**13:00～18:00 国際シンポジウム**

18:30～20:30 懇親会（会費制）

#### 2日目（5月20日・日）

10:00-12:00 志摩市再生干潟「石刈」(9:30 ホテル発)、及び遊覧船による伊勢志摩国立公園・海洋生態系・海の健康診断結果などを学びながら英虞湾視察（参加費無料）

伊勢志摩国立公園内にある三重県志摩市では、漁場回復や環境教育の場づくり、企業CSRのため、沿岸遊休地に海水を導入する形で干潟再生が行われ、2015年には第8回海洋立国推進功労者表彰（内閣総理大臣賞）を受賞しました。世界においては、イギリスで既に55か所の大型事例があるなど、干潟の浄化能力や沿岸域生態系インフラを活用しながら、防災・減災、漁場・生態系回復、地球温暖化対策を行う「人工的海岸線変更（海岸線セットバック）」事業が進められています。

本国際シンポジウムでは、志摩市の取り組みを広く紹介しながら、海外事例から新たな視点を獲得するため、ヨーロッパ最大の干潟・塩生湿地再生と防潮堤建設を行った事業マネージャー、堤防が自然決壊した地区におけるマングローブ植林を通して漁村のまちづくりを行うマレーシアNGO自然保護室室長、世界各地の再生事業に関わるラムサール条約科学技術検討委員をお招きします。

また沿岸環境再生を「まちづくり」というキーワードで捉え、生態的意義のみならず、その社会的意味や可能性、住民認識や今後の課題についても議論を深めていきます。住民、研究者、NGOや行政など、セクターを超えた意見交換会も行います。どうぞ参加下さい。

<プログラム詳細>

**5月19日(土)**

10:30 - 11:30 ホテル近鉄アクアヴィラ伊勢志摩敷地内にある再生干潟観察・敷地内視察

**13:00 - 18:00 『干潟・海辺の再生とまちづくり 国際シンポジウム』**

「開会のご挨拶」 竹内千尋 (志摩市長)

「干潟再生とホテル近鉄アクアヴィラ伊勢志摩」 中西幸光 (ホテル近鉄アクアヴィラ伊勢志摩)

「志摩市の新しい里海創生と干潟再生」 浦中秀人 (志摩市・里海推進室長)

「環境省の干潟再生の取組み」 内田清隆 (環境省中部地方環境事務所)

「世界における海辺の湿地再生とまちづくり」 ロブ・マクイネス

(ラムサール条約科学技術検討委員会委員・RM 湿地環境コンサルタント代表)

「ヨーロッパ最大の干潟再生事業とコミュニティ」 ティム・マックグラス

(WWT・英国ステアート沿岸湿地事業代表)

「マングローブ再生を通してつけた地域力」 バル・ベルマル (マレーシア自然保護協会・自然保護室室長)

「志摩市の干潟再生事業と住民視点」 三上直之 (北海道大学)

「再生事業を見つめる地域の目・国際調査結果」 山下博美 (立命館アジア太平洋大学)

「干潟・海辺の再生とまちづくり・課題と可能性」 (会場全体でのディスカッション)

「閉会の挨拶」 志摩市里海創生推進協議会

18:30 - 20:30

懇親会・ホテル近鉄アクアヴィラ伊勢志摩 (予約・会費制: 6,000円)

**5月20日(日)**

10:00-12:00 志摩市再生干潟「石淵」(9:30 ホテル発)、及び遊覧船による伊勢志摩国立公園・海洋生態系・海の健康診断結果などを学びながら英虞湾視察 (参加費無料)

<主催> 立命館アジア太平洋大学 (APU) 環境・開発分野 山下研究室

<共催> 北海道大学大学院理学院自然史科学専攻科学コミュニケーション講座  
科学技術コミュニケーション研究室

<後援> 志摩市、三重県、志摩市観光協会

<協賛> ホテル近鉄アクアヴィラ伊勢志摩

<お申込み> **オンライン申込みフォーム** <https://goo.gl/forms/FpPL7dTOhwZiZHH82>

<電話またはメールでのお申込み>

**志摩市観光協会 担当: 大塚 (おおつか) 電話: 0599-46-1112**

メール: [m-otsuka@kanko-shima.com](mailto:m-otsuka@kanko-shima.com)

<シンポジウムの内容についてお問い合わせ>

立命館アジア太平洋大学 アジア太平洋学部 准教授 山下博美 (やましたひろみ)

電話: 0977-78-1065 メール: [hiromiya@apu.ac.jp](mailto:hiromiya@apu.ac.jp)

[本シンポジウムは、日本学術振興会による科学研究費補助金基盤研究 (B)「干潟再生事業における住民認識に根差した新・環境コミュニケーションモデルの構築」(15H02873)の一部として実施されます]